

2023年  
(令和5年)

4月号

# 壬生川公民館だより

〒799-1341 西条市壬生川200番地  
TEL・FAX 0898-64-2202  
E-mail [nyugawa-k@saijo-city.jp](mailto:nyugawa-k@saijo-city.jp)



壬生川地区人口 [2月末現在] (先月比)

男性2,279人(+1人) 女性2,454人(-3人) 合計4,733人(-2人) 世帯数2,259戸(-2戸)

## 壬生川小学校・地域合同運動会ご案内



壬生川小学校校長 越智勝也  
実行委員会委員長 井上康

コロナウイルス感染防止のため中止となっていました、壬生川小学校・地域合同運動会をこのたび開催することになりました。皆様お揃いでご参加くださいますようご案内申し上げます。

期 日：5月21日(日曜日) 午前中開催  
(雨天の場合5月28(日) 28日も雨の場合地域は中止)  
時 間：午前8時15分～  
場 所：壬生川小学校運動場



★お楽しみ抽選会があります。当日はプログラムをご持参ください。



久しぶりの運動会！  
みんなで、楽しもう！！

### 【4月のごみ収集日】

- ◆粗大ごみ ..... 戸別収集(自宅の玄関先などで収集)
- ◆古紙の日 ..... 5日(第1水曜日)
- ◆ビン、ペットボトル、スプレー缶 .. 12日(第2水曜日)

※ごみは、決められた日に決められた場所に出してください。



## 肖像権等個人情報に係わる承諾について

- ◇ 行事や学級[講座・教室]の様子、作品等を公民館職員が写真撮影しますのでご了承ください。また、撮影した写真を公民館だより[館報]やホームページに掲載する場合があります。写真の撮影、掲載を望まない方は、公民館職員までお申し付けください。
- ◇ ホームページへの掲載に関して、ホームページで使用する肖像権等の個人情報については「公民館だよりのホームページ掲載要項」に従って適切に取り扱います。
- ◇ ホームページ掲載後に、やむを得ない事情で掲載を取りやめたい場合は、その旨を公民館まで申し出てください。

## ひうち句会 (順不同)



松林に潮騒を断ち梅の苑 じゆみよう ことば しおさい た うめ えん	稲井 爽秋
寿命てふ言葉しみじみ枇杷の花 けんきやく なかま くさも じゆみよう ことば びわ はな	稲井 卓機
健脚のゴルフ仲間や草萌ゆる よべ あめのこ あぜみち けんきやく なかま くさも	石原 宏子
昨夜の雨残る畦道犬ふぐり じんせい かどで いわ はるた ひ じんせい かどで いわ はるた ひ	岡部 和代
人生の門出を祝う春立つ日 はるいちばん め ほそ ろくじどう 人生の門出を祝う春立つ日	木原美寿子
春一番お目を細めし六地藏 お 老いていよよ太き地声や鬼やらふ はるいちばん め ほそ ろくじどう お 老いていよよ太き地声や鬼やらふ	福本 実子
老いていよよ太き地声や鬼やらふ ぷつくりと薔薇の芽吹きのみくれなる お 老いていよよ太き地声や鬼やらふ ぷつくりと薔薇の芽吹きのみくれなる	丸山 英子
ぷつくりと薔薇の芽吹きのみくれなる	矢野 悦子

## 壬生川放課後子ども教室

【2月18日】 お菓子作り ♪



【2月25日】 英語で遊ぼ ♪



✿英会話で実践！うまく伝わるかな？

壬生川公民館では、土曜日の放課後、小学生を対象に放課後子ども教室を開いています。どの教室も、楽しく活動しています♪現在、次年度に向けて計画を進めています。お楽しみに♡



【3月4日】 運動 ♪



【3月11日】 茶道 ★



# 令和5年度 壬生川公民館サークル活動のご案内



壬生川公民館では、下記のサークルが活動しており、地域の皆さんの学習の場となっています。  
興味のあるサークルがございましたら、壬生川公民館（TEL64-2202）までお問合せください。  
多くの方々のご入会をお待ちしております。



	サークル名称	活動日	活動時間
1	うたごえ（歌）	第1・3 火曜日	13時30分～15時
2	歌唱サークル（歌）	第1・3 金曜日	13時30分～15時
3	めだか（歌）	第2・3 土曜日	13時30分～15時
4	きんえい 吟詠クラブ（詩吟）	第2・4 水曜日	13時～15時
5	押花教室（椿の会）	第1 木曜日	13時30分～16時
6	きふじん 綺布陣（パッチワークキルト）	第2・4 水曜日	19時～21時30分
7	日本画教室 “馬の目会”	毎週水曜日	13時～17時
8	自力整体サークル	毎週水曜日	9時～10時30分
9	しんび 真美体操☆Jr.（洋舞ダンス）	第1～4 金曜日	16時～20時
10	レクレーションダンス学級	第1・3 水曜日	13時30分～15時30分
11	フォークダンスサークル ”ベラドンナ” フレンズ	毎週火曜日	13時30分～15時30分
12	ピンポンクラブ	第2・4・5 水曜日 第1・3 土曜日	13時30分～15時30分
13	卓愛クラブ（卓球）	毎週木曜日 第2・4・5 土曜日 第1・3・5 日曜日	13時～16時
14	西条さくらクラブ（卓球）	毎週木曜日	9時30分～12時
15	ヨガ&ミニトランポリン	毎週火曜日	19時30分～20時30分
16	いきいきサロン 遊々（軽スポーツ・手芸他）	第2 金曜日	13時～16時
17	いきいきサロン ひまわり（手芸）	第2・4 月曜日	13時30分～15時30分
18	明友会（料理）	第4 土曜日	9時00分～14時
19	壬生川しらすぎ会サロン（料理・手芸）	第1 土曜日	9時30分～11時
20	いきいき百歳体操	毎週水曜日	10時～11時30分
21	テスクラブ（エアロビクス・ダンス）	毎週月曜日	19時30分～21時30分
22	Nコンディショニング（健康体操）	第2・4 金曜日 第1・3 土曜日	10時30分～11時30分

## 西条市軽スポーツ大会開催♪

- 日 時 5月14日(日) 9時～12時(受付:8時30分～)
- 場 所 丹原体育館アリーナ
- 大会種目 囲碁ボール
- 体験種目 シャッフルボード
- 対象者 小学3年生以上  
1チーム2名～4名で競技をしていただきます。
- 定 員 40名(先着)
- 申込方法 4月28日(金)までに、専用の用紙を申込先に提出。  
(スポーツ健康課へ申し込む場合は、FAX可)  
※FAXにてお申し込みの場合は、必ずスポーツ健康課まで受け付けの確認をしてください。※大会当日のお申し込みはできません

- 注意事項 当日は運動のできる服装でお越しください。  
水筒・タオル・室内シューズをご持参ください。
- 申 込 先 ○スポーツ健康課（市庁舎新館1階）  
TEL0897-52-1255  
FAX0897-52-1294  
○西部支所市民福祉課  
○丹原サービスセンター市民福祉係  
○小松サービスセンター市民福祉係  
○各公民館
- 問合せ先 お近くのスポーツ推進委員またはスポーツ健康課まで  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況や天候等により、中止や変更を行う場合があります。

## ～毎月10日は人権を考える日～

## ☆4月の主な行事予定☆



### 僕の体験

西条市立河北中学校 2年 垂水 新太

僕は小学生のころから、人権について学習してきました。内容は、日常の人間関係の中で生まれる身近な差別に始まり、学年が進むにつれて、世界中で問題となっている様々な差別について学ぶようになりました。僕には、実際に起きた出来事がきっかけで、自分の心が大きく変わった経験があります。

その日僕は、学校から一人で帰宅していました。僕の通学路には、障がい者支援施設があります。そのため、施設の人が散歩している姿をよく見かけます。僕の住む地域では、子どもでも大人でも、道で出会った人には明るい声で挨拶する習慣があります。僕もその習慣はとても良いことだと思っていたため、誰にでも同じように挨拶するようにしていました。しかし、中には知らないふりをする人もいます。その人は、よく見かけてすれ違うのですが、一度も挨拶を返してくれたことがありませんでした。僕はどうしてだろう、と疑問に思っていたし、少し寂しい気持ちもしていました。会うたびに挨拶を続けました。

ある日のことです。僕はいつも通り通学路を帰り、その人に挨拶をしようとした瞬間、その人は僕の後ろを指して「アー。」と大きな声で叫んだのです。

最初は何を言っているのかわからず驚きました。指さす方を見てみると、僕のハンカチが落ちていました。僕はすぐに何か起こったのか理解しました。そして、心がらわっとオレンジ色に染まり、温かくなりました。言葉が話せないのか、人に話しかけるのがとても苦手なのか、分かりませんが、その人は何かして僕にハンカチを落としたことを伝えようとしたのでしょうか。僕はこの時、この人はいつも僕が挨拶をしても無視する、言葉が話せない障がい者なのかと、知らず知らずのうちに差別していたことに気付きました。そして、そんな自分の心を恥ずかしく思い、とても自分に腹が立ちました。差別はいけないと頭では理解していたつもりでも、自分の中に人を差別したり、勝手に決め付けたりする心があったのです。僕はこの事実にショックを受け、落ち込みました。

この体験をきっかけに、僕は「あの人は〇〇な人だ。あの人の友達はコロナに感染した。」など、「あの人は..」という考え方、言い方をやめようと思えました。考えてみれば、誰もが同じ人間です。幸せに生活する権利を持っています。その考えがさらに深まったのが、2021年のパラリンピックを見た時でした。今までごく普通に元気に生活していた人が、不慮の事故で大けがをしたり、生まれつき障がいや病気をもっていたりしている人などが、実に生き生きと競技に取り組んでいました。中でも一番印象に残っているのがラグビーです。手を失った人、足を失った人、全身大やけどを負った人、ほとんど目が見えない人、全ての人が、必死でボールを追いかけていました。どの人も、人の目を一切気にすることなく、懸命にスポーツを楽しんでいました。僕は、その姿に心から感動し、さわやかな気持ちでいっぱいになりました。

そのことがきっかけで、僕は人権に対する意識が変わりました。それまでの僕は、差別はいけない、と学んでいても、表面上分かったつもりでいただけでした。なぜ人は差別するのか、そんな風に人を見て、本当に幸せな人生が送れるのか、どうすればこの世から、差別がなくなるのだろう...と考え、もっと人権問題について勉強したいと思うようになりました。

僕はまだまだ、学びの途中ですが、人の心になぜ差別心が生まれるのか、少し分かる気がします。なぜなら、人の心は弱いと思うからです。世の中は様々な考え方の人が出て、どうしても何かを決めなければならない時、多数派が力をもち、少数派は肩身の狭い思いをする場面をよくみかけます。そんな世の中においては、多数派に属するふりをして自分を守ることも仕方がないことかもしれません。人と違うことは個性であると、昔に比べると多様性が認められる時代になってきていますが、その考えが世に受け入れられるようになるまでどれだけの多くの闘いがあったことでしょうか。自分の本来の姿を明らかにするカミングアウトという行為も、珍しくなくなりました。自分は自分であるということ、堂々と主張できると、どれほどの人が救われ伸び伸びと自分の人生を生きられることでしょうか。しかし、自分らしく生きるということは、本当は当たり前のことのように思えてなりません。世の中の常識と呼ばれるものと、少し違っていたら、人から変な目で見られたり、排斥されたりするのは、まさに人の心の弱さや知らないものへの恐れによるものだと思います。そんな当たり前のことが、もっともっと認められる世の中にしていくためにも、僕たちはより深く広く学び、多様性について学ぶ必要があります。自分の中の差別心に気付き、間違った考えを正していけるよう、誰もが努力することで、より住みやすい、幸せな世の中になっていくと僕は信じます。

このように、僕は自分の差別心に気付き、それを壊していくきっかけになるような良い体験をしました。ほんの小さな出来事でしたが、あの日僕がハンカチを落としたと伝えてくれようとした人に、直接会って、もう一度お礼が言いたいです。そして、これから差別を見つけた時、正しい判断ができるように、また、間違った考えに注意ができる自信と勇気を持った大人になっていきたいです。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

### 退職のご挨拶



この度3月末をもって、定年退職することになりました。着任中の5年間、地域の皆様と出会えて、とても楽しい時間を過ごすことができました。いつも温かいご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

主事 高橋 裕子